

コウトウシュウカイドウ

ぜつめつ きく
絶滅危惧Ⅱ

学名	Begonia fenicis
科名	シュウカイドウ
別名	
区分	そうほんるい 草本類
分布	いしがきしま いりおもてじま よなくにじま 石垣島、西表島、与那国島、 たいわん 台湾、フィリピン



せつ
説
めい
明

さんち じゅりん した は たか 40-80 cm の たねんせい そう
山地の樹林の下に生え、高さ 40-80 cm の多年生の草
ほん こんけい は は ね だ は えんけい けい
本で、根茎を這わせて葉と根を出します。葉は円形で径
8-14 cm、葉の縁は鋸歯があります。花は白色や淡桃色
でまとまって咲き、変わった形をしているので目立ち
ます。

葉の形	がた ハート形
葉の縁	きよし 鋸歯
葉の先	えいせんけい 鋭尖形
葉の種類	たんよう 単葉
葉の付方	
葉の基部	がた ハート形
実の種類	さくか 蒴果
花・萼色	しろいろ たんとうしょく 白色、淡桃色